

デマンド型乗合タクシー存続を求め・・・ 3000名の市民請願を議会が趣旨採択！



かすみがうら 市議会議員みやじま謙活動報告

つばさ通信

第17号

6月19日にかすみがうら市議会令和元年第二回定例会が終了しました。

この議会では、来年3月での廃止方針が打ち出されている乗合タクシーの存続と改善を求める請願が、約3000名の署名とともに提出され、議会での採択の行方が注目されました。議案審査特別委員会では、請願代表者の石井ヒロ江さんが意見陳述を行い、外出できない高齢者や交通弱者の切実な願いを訴えました。

市は市民の声を聞き廃止撤回を！

廃止は高齢者切り捨て

市は乗合タクシーについて「利用者が減少し、同じ人ばかり使っていて、一人当たりの経費も高くなっているから」との理由で来年3月で廃止し、代替策としてタクシーの利用助成（タクシー乗車1回につき500円、月6回・年72回）に切り替えるとしています。私は今年3月の議会

でも「乗合タクシーは廃止ではなく改善を」と、その必要性を訴えてきました。このまま乗合タクシーが無くなれば、高齢者の外出機会は大幅に減り、買い物や通院にも支障をきたすようになります。

そうならば、不自由な生活を送らざるを得ない高齢者が増えることは間違いありません。

市民が立ち上がった！

そうした中、「何とんでも乗合タクシーを残して改善してほしい」という市民グループが立ち上がり、議会への請願提出を目指し署名活動を始めたのです。代表者の石井ヒロ江さんはこう話します。「自分もやがては免許証を返納して乗合タクシーにお世話になるつもりでいました。とこ

ろが突然の廃止の情報を聞いて驚きました。これは大変と知り合いの皆さんと話し合い、市民を声を行政に届けるために、署名活動を始めたんです」

署名活動は全市に広がり、3000名を超えるほど集まり、現在も増え続けています。（請願提出段階で認められた数は2983筆）。

市は存続を再検討せよ

議会ではこの請願の審査を、議長を除く全議員で構成する議案審査特別委員会に付託し、この委員会で審査を行いました。

委員会では、石井ヒロ江代表による意見陳述が行われ、乗合タクシーの必要性や署名をした市民の思いを議員に訴えました。

「乗合タクシーが無くなったら生活していけない」「年寄りを見捨てないで」「自分もやがて利用しようと思っていた」「代替策のタ

クシー助成では負担が大幅に増えて困る」などの市民の切実な声が多く聞かれたとの報告がありました。

しかし、この委員会では採択に賛成する議員が少数となり、「不採択すべきもの」とされてしまいました。

石井代表ほか、多くの傍聴者の落胆は大きく、「議会は市民の味方じゃないのか！」などの声も聞かれました。

ところが、議会最終日の本会議での採決では①採算性を考慮した制度に見直して存続させる②土浦市の乗合タクシーとの連携を検討する、という2条件を付した趣旨採択案が提出され、賛成多数で採択。2つの付帯決議の内容は全会一致で可決されました。

これまで廃止方針の撤回を頑なに拒否してきた市ですが、今回の市民の声、そして議会の決定を真摯に受け止め、乗合タクシー廃止方針を撤回し、すぐに改善策を再検討しなければなりません。

フードバンク活動にご協力お願いします！

フードバンクとは、賞味期限内で安全に食べられるにも関わらず包装ミスや返品などで廃棄される食品や、ご家庭で余っている食品を集め、困っている人へ無償で届ける活動です。だれでもできる「食の助け合い」にぜひご協力ください。

【寄付していただきたい食品】

2か月以上の賞味期限があり、常温保存できる未開封の食品（缶詰、レトルト食品、乾麺、インスタント食品、白米、お菓子など）
※もちろん新規購入品も大歓迎です。

【受付場所】

霞ヶ浦地区：あじさい館入口
千代田地区：千代田ショッピングモール農協そば前
※いずれも営業時間内



みやじま謙はNPO法人フードバンク茨城の会員です

「先生がどんどん入れ替わる」、これぞ子どもの教育は大丈夫か？ 教育軽視の人事に疑問の声

学校も行政も毎年大量配置換え

2年で4分の3入れ替え

4月のある日、下稲吉小学校の保護者から、「3月の異動で先生が10人以上出て行って20人近く新しく入ってきた。こんなに先生が入れ替わって不安です」との訴えが寄せられました。

先生のうち31人が入れ替わったという事になります。つまり2年間で4分の3が入れ替わるといふ異常事態なのです。

しかも昨年は教員の数が足らず、教頭や教務主任が授業を代行するなど、イレギュラーな状況が続いていたとのことで、教育現場の混乱ぶりは明らかです。

学校の先生に異動があることは皆さんご承知のとおりです。それは、様々なタイプの学校や子どもを経験することによって、教員自

らが成長し、スキルアップを図るためです。しかし一方で、児童・生徒側から見れば、毎年先生が大量に入れ替わる状況は、決して望ましいものではありません。たった3年で先生が全員が入れ替わってしまうような学校で落ち着いて勉強ができれば、と思えません。

事務局長、学校教育課長、そして課長補佐が、この2年、毎年入れ替わっているのです。役所の人事でも異動は避けて通れません。公務員としてのスキルを高めるため、そして業者との癒着を防止する意味でも必要な措置と言えましょう。

しかし、本人の希望や適正を見定めつつ、3年程度の経験を積みながら、ある程度分野を定めて異動を重ね、スペシャリストに育てていくのが本当ではないでしょうか。それが今回の人事では、3者とも、教育分野とは全くの無関係な部署からの異動です。これでは施策の継続性など望むべくもありません。私は一般質問でこの問題に触れ、

「学校現場、そして教育行政の担当者を毎年ごっそり入れ替えるのはなぜか。教育軽視ではないか？」と質しました。

しかし大山教育長は、「教員の異動については県教育委員会の人事異動方針であり、教育委員会事務局の人事は市長部局の内示」として、受け身なので仕方ないとの姿勢です。

また横瀬副市長は、「私は年に3回の異動や、毎年の異動も数知れず経験したが、後の仕事に役立った」と、今回の人事に問題ないとの認識を示しました。

心配する保護者の思いとかけ離れた執行部の答弁に、この市の教育行政の行く末を案じずにはおられません。

これは防げた事件です。兆候を把握しながら放置し、事件後も事実関係を調査せずに非公開で済ませようとした学校や教育委員会の責任は重大です。

「男子生徒もイジメの被害者だった」「以前も刃物を学校に持ち込んだことを学校は把握していた」などの情報もあり、その段階できちんと調査と対処がなされていれば、男子生徒は加害者にならずに済み、女子生徒は傷つけられずに済んだ可能性があります。

これは防げた事件です。兆候を把握しながら放置し、事件後も事実関係を調査せずに非公開で済ませようとした学校や教育委員会の責任は重大です。

事務局も1年交代

人事の大量入れ替えは、教育行政を担当する教育委員会の事務局でも行われていました。それは、学校教育の

問題に触れ、「学校現場、そして教育行政の担当者を毎年ごっそり入れ替えるのはなぜか。教育軽視ではないか？」と質しました。

しかし大山教育長は、「教員の異動については県教育委員会の人事異動方針であり、教育委員会事務局の人事は市長部局の内示」として、受け身なので仕方ないとの姿勢です。

また横瀬副市長は、「私は年に3回の異動や、毎年の異動も数知れず経験したが、後の仕事に役立った」と、今回の人事に問題ないとの認識を示しました。

心配する保護者の思いとかけ離れた執行部の答弁に、この市の教育行政の行く末を案じずにはおられません。

交通権は基本的人権

TOPICS

高齢者の運転による事故が連日のように報道されていますが、「免許を返納したら、生活が成り立たない」というのが皆さんの生活実態ではないでしょうか。ところで皆さんは「交通権」という権利をご存知ですか？

わが国では憲法25条ですべての国民に「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障していますが、それを実現するために、自由な外出が欠かせないことから、交通機関を利用して自由に外出する権利を「交通権」と呼びます。国や自治体は当然の義務として、市民が交通権を行使できるようにつとめなければ

ならないのです。市では、乗合タクシー廃止の代替策として、タクシー助成制度を行うとしていますが、500円のタクシー助成券をもらっても、日常の足にはなりません。公共交通の問題はそれ単体の経済効率ではなく、社会福祉政策実現の手段として考えなければなりません。



需要が増え続ける乗合タクシー

千代田と出島は鳥の両翼 心合わせて羽ばたこう！



みやじま謙の「創ろう！かすみがうら市新時代」 ブログ大好評配信中！